

法吉小学校だより



法吉っ子

令和7年5月 文責 校長：伊藤英俊

法吉小のホームページも

どうぞご覧ください⇒



ほん気で考える子・つよい心をもった子・きょうも元気な子・このまちを大切にする子

◆育てたい姿・・・校歌に立ち戻る

法吉小に赴任してまず探したのが、「校歌」です。校歌には、保護者や地域の方の願いが反映されており、それが校風となっているからです。

作詞をされた藤脇久稔さんが詩に込めた思いを紹介します。今回は、校歌一番の歌いだしの部分「佇つ丘は 山ふところよ」の紹介です。

「佇つ」は、たたずんで待ち望むの意味です。小学校の6年間で懸命に生きていく下地、根を大きくゆったりと張っていき、やがてひとり立って歩みを踏み出すときを待ち望むのだという意味が込められています。

「ふところ」は、温かく安らかなところ。自然に恵まれた美しい法吉の環境と、保護者・地域の方の温かい愛情に満ちた心のふところにいだかれて、すくすくとおおらかに育ってほしいという願いです。

丘に建つ学校で、地域の愛情に包まれて、将来の一步を力強く踏み出すために力を伸ばしていく。そんな法吉小の教育を創りたいと、心に刻みました。またの機会に、校歌のつづきを紹介します。

佇つ丘は
山ふところよ
かぐわしく
風はさわたり
ぼくたちの わたしたちの
法吉小学校
おおらかに育ちゆく



◆1年生を迎える会

5月2日(金)に全校児童が集まって1年生を迎える会をしました。6年生が最高学年として活躍し、1年生も立派に法吉っ子の仲間入りができました。

プログラムには、学校紹介やみんなで一緒に楽しむゲーム、校歌の意味を伝えたり愛唱歌「四季の池」を踊って見せるものまでありました。1年生からも感謝の気持ちとこれから頑張るよというメッセージを伝えました。全校が温かさに包まれた雰囲気となりました。



◆チューリップは「たね」ができる？

法吉小の正門に咲いていたチューリップ。このチューリップ、「たね」はできるのでしょうか？皆さんはどう思いますか？

子どもたちに質問すると、「できる、できない」と半々に分かれることが多いのですが、頭を悩ませるのが球根の存在です。種を目にすることはほとんどありませんからね。

では、答え。「たね」はできます。このたねを土に植えると芽が出ます。でも花はすぐには咲きません。エネルギーが足りないのです。このたねを6年近く土の中で育てると、たねが球根へと育ちエネルギーがたまって、花を咲かせるまでになるのです。

他にも面白いところがあります。アサガオにあってチューリップには見えないもの。それは、「がく」です。そう、見えないのです。実はチューリップは、内側の3枚が「花びら」で、外側の3枚が「がく」なのです。

学校やお家の周りには様々な植物が植わっていると思います。じっくり見ていると「アレッ」と疑問が浮かび、調べたい気持ちがふくらんでくるかもしれません。



◆令和7年度の重点

今年度重点的に取り組みたいことをお伝えします。この内容は、昨年度の学校評価の結果をもとに設定しています。良いところは本校の伝統としてさらに伸ばしていこう、改善が必要なところは伸びしろとして育成していこうという願いをもって設定しました。

キャッチフレーズ

ほっきっこをめざして

「伸びる」ために、「やってみよう」「がんばりぬこう」

(%) は、児童の評価数値

■良さとしてさらに伸ばしたいところ

- 学校やクラスが楽しい (94%) ⇒キャッチフレーズに基づき全校指導、支援
- ふるさと法吉のことが好き (96%) ⇒「人に学ぶ体験」「本物・感動体験」を発掘

■良くするために改善していきたいところ

- 自分の思いや考えを伝えている (71%) ⇒授業や生活の中で、「説明する力」をつけていく
- 好きな本を探して読書したり調べたりしている (74%) ⇒読書習慣&調べる学習を充実させる、お便り等で実践を積極的にお知らせする
- 気持ちのよいあいさつや返事をしている (81%) ⇒家庭・地域と共同で、あいさつ・会釈を勧める
- メディアや食事について (2つとも 70%台) ⇒課題を共有し、科学的な情報等をもとに取り組みを進めていく

お礼 校庭芝生の管理、野菜づくり、登下校の見守り等々、保護者や地域の皆様からたくさんのご支援・ご協力をいただいております。ありがとうございます。

電話:0852-21-4354 FAX:0852-21-4359 Mail:hokki-e@city.matsue.ed.jp